夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電381 1222

シンガーミシン
指定販売店
石川ミシン商會
平市二丁目電1232

平市の土木行政暗黒化

強口委員長の横暴

飯野の農民ら憤慨

磐城土建KK社長である市議強口唯七郎氏が土木委員長に就任以来、平市の行政はすべて強口委員長に牛耳られ、委員長の指示で自由に出来る随意契約金額を十万円から十五万円に引上げたのを始め土木請負の指名を殆んど全部お手盛りで磐城土建を加えるなど横暴を極め、先には磐城土建が入れた請負金額も出鱈目のものであつた為「入札書類は返還しない」という市條令を無視して勝手に書類を奪い、これを破棄するなど目に余ることが行われているが、今度は飯野地区下荒川の部落へ行わせることに委員会で決めた埋立工事を、磐城土建に仕事をさせないことを根にもつて、屁理窟の理由を作らせて前の決議を取消し、更めて土木業者指名という横車を押すに至つた結果、地元部落民と正面衝突を来すに至り、市の土木行政は暗黒化するに至つた

四萬圓で下請要求

阿部區長諾否を留保

平市が今年度の庶民住宅地として飯野地内下荒川久世原の田地を約一町歩ほど購入契約を為し、そのうち約半数は磐城土建が請負つて現在三分の一ほど埋立てを進めている（工費三十二万余円）残りの約千五百坪は地元部落民の要望に依つて、去る十日の土木委員会でこれを承認されたが

工事中途で放棄されたり、欠損の場合補償問題など起きては困るという理由で登録土木業者の保証を必要とする

という條件が加えられ、然も鈴木（政）委員から「地元民が請負つた以上他の業者に下請負させぬこと」という希望意見が述べられ、強口委員長もこれを諒承している

下荒川部落に随意契約で請負いさせることに成つた理由は、同所に住宅を作るには道路を必要とし、この埋立経費のうち四万余円を地元部落が負担、市に寄附することに決定しているので埋立工事を直経でやつて負担金の四万円を浮かすことゝ、昨年の冷害救民の立前から部落民を出役させるということであつた

迎えて十六日地元側の阿部区長は鈴木（秋）市議同伴、請負契約のため市土木課訪問、居合せた強口委員長が指導して請負見積書を書き、強口委員長自ら「俺が保証人に成つてやる」と簡単に引き受け磐城土建専務強口金七郎氏が保証捺印している

その時、渡部土木課長の側で強口「四万円やるから〃に仕事をさせてはどうか?」

鈴木（秋）市議「四万円といわずに十万円も出したらよいだろう」

強口「俺達がそんなに儲ける訳があるまい」

鈴木「あんな高級車を乗り廻しているのだから儲かつているのだろう」

阿部区長「秋光さん、そういつても部落の意向を聞かねば駄目だろう」

鈴木「それもそうだ」

話しは其処で途切れ、強口委員長に下請させると決定的に至らなかつた

強口委員長のドン慾

渡部課長、小沼技師と對談

野沢本社長は二十七日市土木課で渡部課長、小沼技師と対談、一問一答に依つて強口委員長の悪らつな不純な行動が明らかにされた

野沢「強口委員長が四万円やるから俺に仕事をさせろといつたそうだが事実か」

渡部課長「私のすぐそばにいての話だからよく聞いた、然し私の方との直接の関係がないので素知らぬふりをしていた」

野沢「四万円部落が貰つて強口氏が仕事をすることに約束が出来たと思つたか」

渡部「阿部区長は何んな風に考えたか知らないが、強口さんは四万円やつて自分に仕事を任せるものと思つたのではないか」

野沢「委員会で鈴木（政）市から、部落請負に決つたら業者に下請をさせぬことという希望意見があつたそうだが」

渡部「それは承知している、然し強口、阿部区長、鈴木（秋）さん等の話だから知らぬふりをしていた」

野沢「小沼技師に聞くが、十九日に強口氏が保証を取つた際どんな状態だつた」

小沼技師「地元側の要望があり強口委員長が見えたので五万円の前渡金の話をしたところ〃それは話が違う〃と憤慨して机の上にあつた書類の保証を取消した」

野沢「その時強口氏が〃お前に仕事をさせぬ〃といつたそうだが事実か」

小沼「お前達に仕事はさせられぬ、委員会を開いて再審議して業者にやらせることにするといつたようです」

野沢「再審議の理由は、三十万以上の仕事は登録業でないと出来ない、請負金額は二十九万八千円だが、市が提供する資材（レール、枕木、トロなど）が一万六千円だから合計三十一万四千円に成り、土木業法違反だという、然し総額三十一万円に成つていることは強口委員長も事前に知つていたのだろう、何故それを事新しく持ち出したのだ

渡部「最初は話しなかつた、こちらの落度です」

野沢「だが見積書を出した十六日には判つていたろう」

渡部「見積書を出したとき始めて別に市の現物支給が一万六千円あることが判つたようです」

野沢「十六日に総額三十一万円四千円であることが判りながら四万円やるから俺にやらせろと主張し、十九日に、自分にやらせぬと判つて、今度は三十一万円の超過問題を持ち出した、そこに強口委員長の不純があり、暴力的な行為がある、課長はそう思わんか」

渡部「私に落度があつたので何んともいわれぬ」

市に土地を賣らぬ

請負解消に部落民激憤

阿部区長部落側は、明日（二十日）から仕事に着手するという前日になつて保証人を取消され、再度強口氏に保証を依頼に行つたが取りつくしまもなく困り果て、猪狩土建の保証を得て二十八日午前十時ごろ小沼技師のもとへ書類を提出、これで工事に着手出来るとホツトしたところへ「委員会再審議で部落請負解消」と聞き、寝耳に水と驚き平市が一旦約束しながら勝手に契約を取消すようなことをするなら、こちらにも覚悟があると憤慨、阿部区長は渡部土木課長の前で次のように語つている

平市がそのような態度に出るなら部落も結束して飽まで平市と戦う、地主（遠藤功勲、阿部信孫、江尻佳作ー同小作人新妻さん）は平市との土地買売契約を破棄してあの土地へは一歩も入れさせない、私のところの田へ下水が流れて来ているが、あれなども堰き止めて了うつもりだ理由がどうあろうとも、強口さんに下請仕事をさせないからこのようなことに成つたと思うが実にけしからん

部落契約破棄

土木委員會は指名を變更

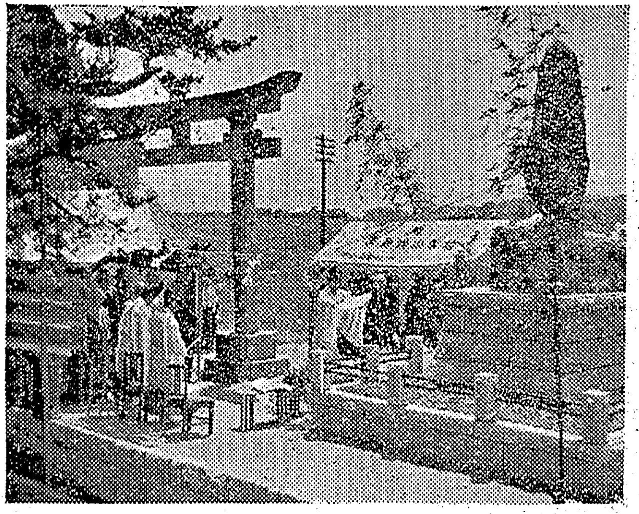
二十八日緊急招集された土木委員会では、市当局から

さきに委員会で決めた下荒川地内の埋立工事は、総工費三十一万四千円であり、市が提供する資材一万六千余円を切り放して地元請負二十九万八千円に決めたのは違法であつた、区との正式契約を為していないから改めて土木業者に指名して請負者を決めたい

という提案であつた、これに対し志賀委員は「地元の救民という意味と道路負担金四万円を生み出すことが主なる目的であつたからこれを部落から取上げるのはよくない」と業者指名に反対「従来五十万円の工事を二ツに分割して地元民にやらせた工事の経験もある」と極力地元請負を主張、諸橋議員も「地元農民と摩擦を生じては将来に禍根を残す、もう少し地元と話し合つてはどうか」との意見も出て、委員会は相当もめたが

地元部落からまだ業者の保証書が入つていない（これは別項のように小沼課長が握つていた）阿部区長の埋立用土を提供しているという志賀議員の説明を伊藤助役は「そのような事実はない」と説明したり、すべては区側に不利益な説明をしていたが実際は阿部区長から埋立用土を無償で提供し、道路敷用と磐城土建の埋立に使つている

結局改めて磐城土建、堀江工業、丸茂土建、平建設工業、遠藤左五右衛門の五業者に指名することに決り、志賀議員はこのよう両指名に同意出来ないと退席、諸橋、山崎両議員から請負人が決つたら、地元に仕事をさせるよう努力したいと要望して遂に強口委員長の意通り地元部落との契約は破棄されるに至つた



佐藤庄太郎翁頌徳碑

きよう盛大に除幕式擧行

既報＝故佐藤庄太郎翁の頌徳碑除幕式は二十九日午前十時半から平市神谷立鉾鹿島神社境内に関内代議士、諸橋市長、菰沼県会議長、馬目、木田の両県議始め坂本、草野村長ら各町村長多数の来賓が出席、頌彰会長関内代議士の挨拶があつて来賓祝辞などあり佐藤翁のそう孫太郎君（三ッ）の手で除幕が行われ盛大だつた、工費三十五万円（写真は佐藤庄太郎翁の頌徳碑除幕式）

仕事は絶對やらせぬ

下請拒否て強口氏ドナル

その後、愈々二十日から工事を始めることに成り、阿部区長は前渡金五万円位貰うため、土木課を訪問、小沼営繕技師と折衝中強口委員長が入つて来たので、小沼技師は「部落では前渡金五万円ほしいというが、やつてもよいでしょう」と相談を持ちかけたところ

強口委員長「部落で仕事をするというのか」

阿部区長「貴方からどういわれても区で仕事をすることに成つている」

強口「区長していてその位のことを常識で判らないか、仕事を区でやるなら俺は保証人などに成つてやらぬ」と机にあつた契約書類の保証人の條項を自ら鉛筆でバツテンして取消しと嘯き更に「この仕事は絶対にお前達にやらせぬ、もう一度委員会を開いて部落請負を取消し、業者にやらせることにする」とゴウ然といゝ放つた、そして二十八日の土木委員会再審議という事態に成つたのである

人事消息

◇中田佑一郎氏（磐城市助役）は起債関係事務打合せのため二十九日朝出県、三十日帰市予定

◇県農会議員木村幸雄氏は三十日初の県農業会議設立準備会議に出席のため出県する

天気予報

廿九日

【今晩】南西の風曇時々晴、一時俄か雨

【明日】北寄風日中一時南寄風曇日中ときどき晴、一時俄雨降るところもある

【海上】今晩風波ある、明日日中は多少風波が出る見込み

会津けいりん
発走11時
場外売場 平市・福島市
郡山市・若松市
7月 29 30 31 8月 1 2 3
主催 福島県
この回の会津競輪によつて生じた純益は全部若松市謹教小学校の復興に充てられます

朝に禮拝
夕に感謝
佛壇佛具製造販賣
平市新川町電1948
橋本屋

平市才槌小路
平運動具店
テンワ108

外務員急募
委細面談
安藤理容器具店
平市田町並木通り電二三四九

夏の味覚
生ビール
中央通り
東龍軒

夏は短かいそげよ乙女！
今年の夏は短かいからつて油断は禁物婦人帽の流行は激しく変ります。藤越の帽子を見逃がしたらそれこそ大変。シックな服装がそこから崩れます。
◎ジョツキ婦人帽二百円より
◎ヒマラヤ帽 二九五円
◎ダウン型五五〇円ー千三百円
◎登山帽二〇〇円ー三八〇円
越
藤越
小名浜
平市

平機關庫を泉驛に

磐城市で移轉の猛運動起す

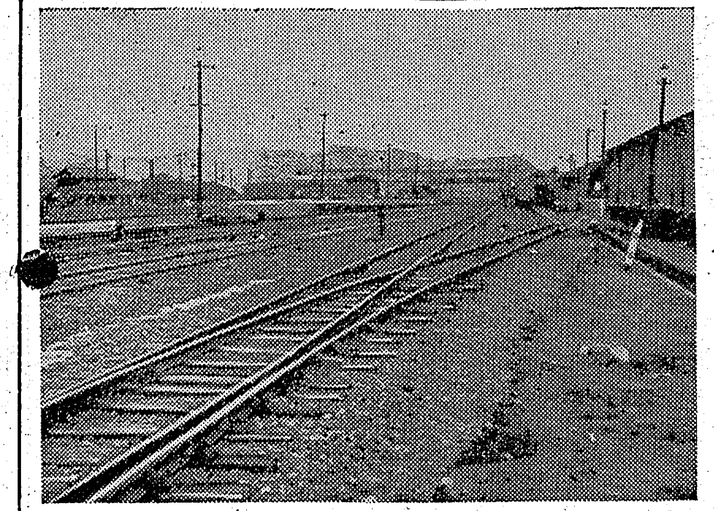
磐城市では平駅構内の平機関庫を常磐線泉駅に誘致するため来月四五日ごろ長瀬、江尻正副議長、中田、飯塚水産商工常任正副委員長らが上京、関内運輸常任委員長に案内を求めて国鉄当局へ運動することになつた

○…平駅は最初平市役所南側の谷川瀬地内に移転する方針であつたがその後この移転計画はとりやめとなり同駅は専ら乗客専用駅とし平駅の附近に貨物専用駅を設けたい意向を国鉄はもつていた模様であつた、今度の磐城市の機関庫誘致運動はこの貨物専用駅と連なるものかどうかはつきりしないがこれが実現すれば敷地の拡張が可能な泉駅が平駅に代つて貨物や機関庫などの充実が期せられることになる見込みである

○…現在の泉駅は磐城市が小名浜市に市名を変更した際に小名浜駅と名前を変えたい意向が地元民の間にかなり強い、同駅の構内総面積は五万四百五十七平方米でうち小名浜臨港線を除いては本線四本貨物引込線三本（収容貨車三十車）と云う貧弱さ、駅舎も平駅に次ぐ乗降客が有るが約六十年前の明治三十年二月建築したと云うお粗末なもの、臨港社線は引込線八本を有し社線専用ホームと本駅を陸橋で結んでいる

○…市当局では機関庫の敷地についてまだ具体的な案は示していないが現在の臨港ホームの北側の玉露部落には相当広い敷地があり機関庫ばかりか貨物専用線の建設にも応じられる土地はあると見ている模様である、然も機関庫が泉駅に決れば年来の宿願であつた急行列車の停車も必然的に解決するばかりか常磐、磐城両線のガソリンカーの車庫も建設可能だと大変な乗気である

○…右について泉駅長室伏秋治氏は「機関庫の誘致運動を磐城市が起すことは大いに喜ばしいことで是非実現させたいものです」と喜んでいる



（写真は話題の泉駅構内）

市營バス運營へ

近く磐城市で協議

磐城市では市営バスを経営すべしとの意見が高まつたので今月末ごろ正副常任委員長会議を招集し、年度内に渡辺、泉、小名浜、江名を結ぶ市内バス路線の認可獲得運動を起すことになつた、この計画は立花市長から議会に対し委員長招集の要請があつたために表面化したもので、委員会で決れば議会にかけ正式に市営バス設置案を討議しようというものである

千軒平溜池改良を協議

大浦村役場会議室に於いて二十八日午前九時から（四倉、大浦、大野）の一町二カ村村長が集合、千軒平溜池土地改良協議会を開いた協議案は▼歳入歳出追加更正予算▼農林漁業資金借入について▼二十九年度溜池工事費について▼二十九年度千軒平溜池土地改良歳入歳出予算について、なお総代会は八月六日に開く

賣上げ良好

三夜市反省會

平市商連では二十四日午後一時から役員会を開き、各商店会の夏祭り売出し招待券の引受枚数を決め午後二時から第一回三夜市の反省会を開き次の結論を得た

▼売上げは予想していたより倍の収穫がありおどろいたが、これは売値が非常に安いためで今後も廉い出しものをどしどし安くうる

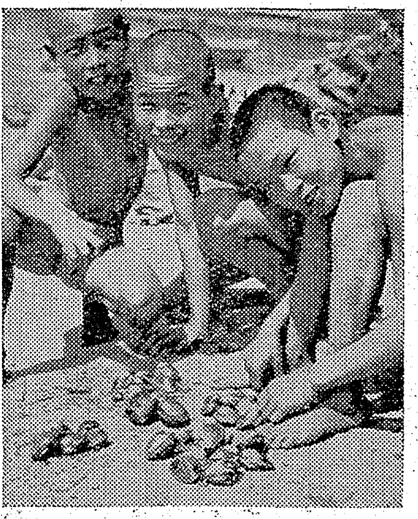
▼八月は二十三夜の大祭だから人出は相当あると予想され、今回は出店十七軒だつたが今度は倍くらい出す準備を要する

▼次回からは二丁目商店会もこの行事に協賛するほか打揚花火で景気を煽る

▼八月の世話人は岡崎栄蔵、伊藤退之助、鈴木藤太郎、武田金一、佐川斉達の五氏に決めた

ホッキ貝が獲れる

珍しいと小名濱で評判



磐城市小名浜港内にどうしたわけかホッキ貝が繁殖しハマの子供たちも夏休みを利用してホッキ貝とりに大童、小名川の河口附近一帯に二、三年前からヒラ貝がとれ出したのが今年からは大きなホッキ貝もとれるようになつたもの、特に二十個で百円という土産相場も出来上つて子供たちも多いときは三百円位になるとあつて中々の繁昌である、右について県水試では「ホッキ貝を移植したわけではないのによく獲れるのは珍らしい、昔は小名浜でもホッキが獲れたという記録があるのでホッキの繁殖に適するような条件が出来たため急にホッキ貝が獲れ出したものと思う」と説明している（写真は子供たちが獲つているホッキ貝）

射撃大會開く

五日 平市谷川瀬

平射撃クラブでは恒例の夏まつりの一環行事として八月五日名物「七夕祭り」の当日午前八時から平市谷川瀬射撃場で「第四回夏季トラップ射撃大会」を挙行する、射撃方法は前回一コ撃、十回（二十点満点）とした、参加会費は三百円、撃ち返し百五十円で、入賞者にはA、B組とも一等―十等のほか、残念賞、時間奨励賞など盛り沢山の賞品が用意されている、なお当日は平駅から江名町行バスで飯野支所まで連絡する

無料映畫會

四倉で開く

四倉町文化団体渉進会（代表青木由太郎氏）では〃社会を明るくする運動〃に協力して、無料映画会を毎日午後七時半から次の日程で行う

▼八月一日磐城セメント四倉工場、二日四倉仲町県立脱衣場、三日四倉町田戸青年会館、映画は▼激怒、ニュース、マンガ数本

常磐勞自治會

役員を選出

常磐炭鉱ではこのほど労組本部会議室で各地区寮代表者会議をひらき自治会連絡協議会の役員選出と今後の運営について協議した結果会長に酒井健二（東寮長）副会長兼会計に高橋孝（睦寮長）の両氏が選出された、ついで給食改善については食費との関係もあるので寮生の世論調査を行つた上で食費と改善方法を考慮することになつた、なお八月五日に第四回自治会対抗卓球大会をひらく

衞生班員の指導講習會

平保健所では赤痢流行期を迎え衛生班員の指導講習会を次の日程で開き、蚊とはえの習性並びに生態駆除などについて同所馬場、菅野北郷各技師が指導する

▼二十九日午前十時より平市▼二十九日午後一時内郷市▼三十日午前十時常磐市▼三十一日午前十時好間村

〃眞實に生きる學生〃

（中）

園部昭弘

赤い夕陽が西の山に姿を没するとやがて、静かに夜のとばりが落ちる。

水を汲む井戸の軋る音が妙に淋しく耳を打つ。

母と秋男は対坐して、御飯を食べている。食べ終つて、秋男は日課になつている日記をつけた。

「一日つて早いものだ。余りに社会の動きが目まぐるしいためかも知れない。

然し、今の日本には余りに希望がなさすぎる。いろいろな事件が毎日新聞の半分を占領している。強者が弱者を滅ぼすのかも知れない。だとすれば、人間は強く生きなければならないのだろうか」ここまで書いた秋男は、自己の心の中でこれからの人生航路を考え乍ら、むずかしい世渡りを考えたのであろう。

亦書き続けた。

「毎日の生活は感情の生活なのか。私の、このペンの先から生まれる文字も決して死んではいない。兎も角、強く生きるんだ。そして楽しい生活を創造して行くんだ」

秋男は静かに日記を閉じた。

その時である。ガタガタと裏の戸口に妙な音が聞こえたのは。―

秋男は一瞬ぎくりとした。母も針仕事の手を休めて、裏の戸口を見た。

秋男も母も、今にも「あつ」と驚きの声を上げようとした。

覆面をした男が、眼だけをきらきら光らせ、手に出刃包丁を持つて、今や入つて来る気配である。

正しく強盗であつた。母は即座にふるえてしまつた。

はたして、座敷に上り始まつた恐ろし光景だ。盗むか、盗まれるか。秋男の心と怪盗の心は真正面から向かい合つた。

強盗は左腕をまくり上げた。右手に持つている出刃包丁をわざと振り廻した。

呼吸と呼吸のたたかいである。

今更声を上げて「泥棒」とは呼ばれない。危機は刻一刻と二人の前に迫つて来た。

秋男は身体が大きく、力の強いのが特徴であつた。学校では柔道部に入り、入つた当時から、先輩達にその腕前が認められていたのである。

強盗は秋男の一米前までやつて来た。秋男は静かに立つた。

「やい手前え共、おとなしくしろ、手むかうと、命がねえぞ」最初から凄いせりふである。背は秋男より一寸位低い。

「なにおつ」秋男の気合と共に出刃包丁は秋男の右手にあり、強盗のからだは、でんぐりひつくり返り、覆面がはずれていた。

一回転んだ強盗は「この野郎やりやがつたなあ」と起き上ろうとしたが、秋男は「やいこの」と云い乍ら強盗を押さえつけてしまつた。流石の強盗も、弱いと思つた秋男の力持ちには、降参せざるを得なかつた。

そして、秋男のすきを見て、一目散に逃げてしまつた。

二、三回転んで闇の中に姿を消してしまつた。

今迄、ふるえ乍ら見ていた母は始めて我れに返つた様子で

「おお驚いた。秋男、お母さんはどうなるかと思つて、一瞬ぎくりとしたよ。でも、お前、仲々強いんだね」

「いや、そんなに強くはないよ。然し、僕だつて驚ろいたよ。なにしろ、突差だつたんだもの。然し弱虫の強盗だよ」秋男はわざと落着いて、出刃包丁をきらりと光らせ乍ら

「ははあ、あの強盗も、いいお土産をおいて行つて、呉れたなあ」

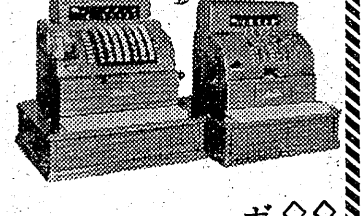
母親も秋男も大きな声で笑つてしまつた。笑つた後には、又元の静けさがやつて来た。

秋男は、今、強盗の入つた裏戸に頑丈な錠を、ガチヤリとかけた

そして、秋男はこの時に、こんな事を考えた。

〃人間の最後に残されたものは、自己の力である。自己の力のみが最大の武器でもあるのだ。〃と強く自分自身に云い聞かせた。

◇◇國松金錢登錄機◇◇
ボタン式七桁レバー式五桁各種
NO二五〇〇
NO二〇〇〇
NO一八〇〇
NO八〇〇
自動記錄〜取引の明朗
合計加算〜會計の整理
客數器〜能率の增進
取引種別〜金錢の保管
國松商會東北代行
萩金庫商會
平市才槌小路二五電一三五二



カメラの御下命は驛前店へ
三丁目は今後サービス部と致します
驛前店改築
カメラの田中
驛前店電1860　三丁目サービス部電576　湯本店電308

私立平「お告げの聖母幼稚園」園児募集
一、願書受付　自七月二十九日至八月三日
二、定員數　一五〇名
三、開園月日　昭和二十九年九月一日より
願書用紙は當幼稚園に備えてあります
尚希望者には同時に園則をお知らせ致します。
昭和二十九年七月二十六日
平市堂根町二五番地平カトリック教会（電一二九〇）
お告げの聖母幼稚園

ヘリコプター飛來

愈よ魚群捜しに大活躍

近海のマグロ群を上空から調査しようと磐城市小名浜漁協組が依頼した大洋漁業所有のベル四十七G型ヘリコプターくじら号が二十八日午後零時三十分東京を発ち同日同一時五十分小名浜第二中校庭に着陸、同漁協組理事田中常太郎さんの三女よう子ちやん(六ツ)から塔乗員栗栖操縦士、加賀社員に対し美しい花束を贈つてねぎらつた

このヘリコプターは二人乗りでかつて南氷洋捕鯨に活躍、好成績をおさめたのでこんど日本では初めての試みとして本県沖合にかけたマグロ漁場を上空より探知、新開拓に一役買うことになつたもの、即ちマグロ主漁場が北上して宮城県金華山の南から相馬郡荒浜にかけた約三十マイルの沖合にみられるので宮城県鮎川基地に向う途中、磐城市に一たん着陸打合せを行つたものだが、小名浜二中校庭の給油基地としての使用が航空局から認可がおりたのでこんごはマグロ漁場の移動によつて飛来することになつた

ヘリコプターには超短波無線を設備同会社の旋網漁船興生丸（百十五トン）に探知の模様を通報、同船が更にこれを他漁船に無線中継してマグロ漁況を知らせることになつている、同日は漁場の探知をせずに一路鮎川基地向け同二時三十分出発した

栗栖操縦士談＝南氷洋捕鯨では大いに活躍好成績をあげたのでマグロ漁業についても同様の結果がみられると思つている、ヘリコプターには操縦士と専門技師一名が乗り込み肉眼で魚群を調査することになつている、五時間半の滞空で二百五十マイル飛ぶことができるので鮎川基地を中心として南北ともに縦横無尽に飛んで調べるわけだ

（写真は飛来したヘリコプターと栗栖（左）加賀両氏）

店舗など七十軒

税金滞納で差押え

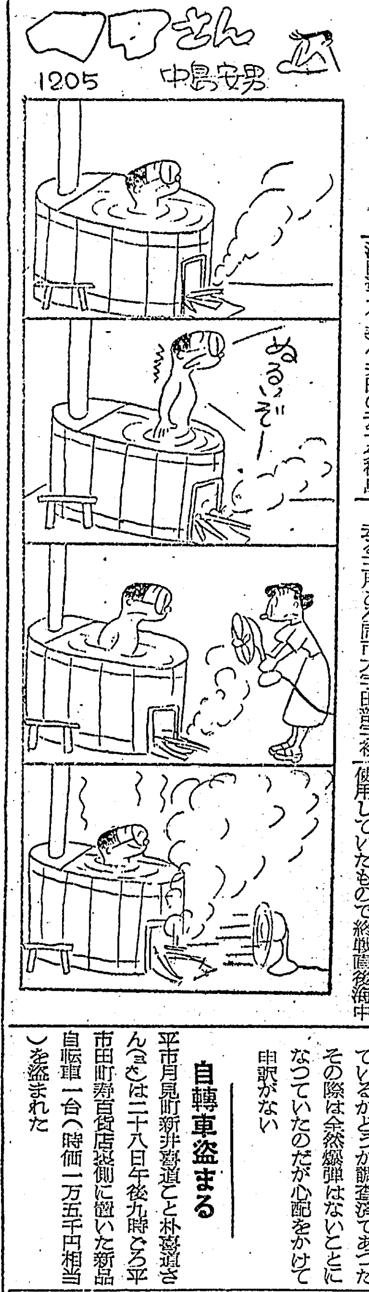
税金攻勢は最近のデフレにあえぐ中小商工業者にとつてマサに死の宣告にもにているが、一方滞納滞納にあえぐ徴收者の方も実に苦しい立場にたつている、平市が二十八年度以前の滞納二千万円の整理に躍気になつてこの程約一割強の二百三十四万二千六百円の整理を行い三十日午後二時から市役所二階委員会室で公売を行うことになつたが、差押物件が殆んど次の通り店舗、住宅その他の家屋によつて占められている、このようなワケだから営業中の店舗とか現に人の住んでいる住宅を公売に付しても仲々買手が現われないワケで、市当局も差押えてはみたものゝ、サツパリ売れないという従来の傾向から、今度の公売には必ず一軒でも二軒でも買手を探がし慢性病になつた滞納整理にピリつとした活を入れることになつた

▼店舗十一件▼居宅二十八件▼工場七件▼倉庫七件▼その他の家屋十三件▼電話加入権二十二件▼宅地十件▼田地四件▼畑一件

空巣専門の女擧る

湯本鑛炭住を荒す

常磐署では二十八日窃盗の疑いで取調べ中の同市上湯長谷字梅平六一無職加藤キク子(三五)を二十八日身柄送検した、調べによると加藤は去る四月二十九日午後二時ごろ同市上湯長谷七二北区湯本鉱労務係助手内藤喜雄さん方から米八升煙草二十本入五箱を盗み、更に同日午後四時ごろ北区五四号採炭夫斎藤力四郎さん方から米一斗四升メリケン粉一袋を盗み五月二十三日午後五時半ごろ同字西区八〇号採炭夫吉田光栄さん方から六球スーパーラジオ一台とタオル地寝巻を盗み、又五月三十日午後八時ごろ同字北区二九号坑内採炭係田村和民さん方から米五升、ザル一個更に六月二日午後九時ごろ同字西区六四号採炭夫小林栄敏さん方から米五升と押麦五升を盗んだほか小林さん所有の精工舎製金メツキ十石入腕時計一個を盗んだもので被害額は約三万円、女には珍らしい大胆な空巣専門で盗品は皆売却して生活費にあてていた



ヘマさん
1205
中島安男
ぬるいぞー

日曹赤井に抗議

鑛害補償未拂で

平市中平窪の簡易水道は工事が完成して八月五日竣工式を催行することになつたが、この工事に赤井村日曹赤井炭鉱が鉱害補償費として四十万円を出すことになつて平市（鉱害対策委員会）と正式契約していたものが、最近に至つて同炭鉱では未だに現金を支出せず市当局を手古摺らせているので二十九日大嶺鉱害対策委員長や大塚水道課長らが同炭鉱を訪れ抗議した

同炭鉱では戦時中中平窪の富貫内、八田部落に資金を出し山水を利用する簡易水道設備（十六戸分）をつくらせた、これは同炭鉱の鉱害によつてつくらせたもので両者の話合いで設置したものだつたが今度中平窪に出来た簡易水道の方が良いというので両部落でもこれを利用したゝめ、同炭鉱では従来の設備（鉄管）が約十万円はあるとみてこの分を鉱害補償額から差引いて欲しいといつた態度をみせ、この問題につい[illegible]市が仲介に入つてほしいと要望してきたもの

八田、富貫内部落ではこれは部落の所有で炭鉱のものではないと強硬だが市当局ではこの問題は両者間の問題で市には関係ないとして約束通り四十万円を出して欲しいと抗議しているもの

あす勿來炭鑛スト突入

かねてから経費節約問題で交渉を続けていた大日本炭鉱労組（組合員一二〇〇名）では、二十九日正午会社側に対し「三十日一番方から五日間のストに入る」旨を通告した

会社側採炭部門だけで月三十万円節約を申入れていたものに対し、二十八日夜交渉決裂したもの

井田の公判

九月一日に

二十八日開いた傷害致死教唆容疑の井田濟造に係る第二回公判は午後二時四十分より引続き同法廷で開廷、九月一日午前九時より第三回公判を開廷証人五人を喚問する

証人は検事から箭内サト子さん(三[illegible])（箭内光氏の妻）鳳城炭鉱生活協同組合常任理事鎌田容治郎氏、添田登一(三五)（井田の元子分福島刑務所服役中）富沢繁雄(三五)（平拘置所拘置中）武藤正見（井田の子分殺人罪で起訴中）弁護人からも添田登一を証人に申請した

日本刀所持

ヤミ屋を検擧

磐城署では同市弁別一二五衣類品販売商高木兼平(三七)を食管法並びに銃砲刀剣類等所持取締令違反の疑いで二十八日逮捕取調べている

同日までに判つた調べによると去る三月ごろ同市大字田部字初田農永山大一郎さん(六〇)ほか数名からウルチ、玄米を一俵（四斗入り）五千五百円から六千円で二十七俵買受け主に近辺の炭鉱方面にヤミ売りしていたほか家宅捜索の結果日本刀（刃渡り四十六サン）一振を発見押収したもの、同署では詳しい買込み先を追及中

物騒な爆彈

小名濱港で拾う

二十九日午前九時ごろ磐城市小名浜港三千トン埠頭東側海底を浚渫中の橋型グレーンが真管付五十キロ爆弾一個を拾得し小名浜海上保安部へ届出た、同保安部では危険なため厳重警戒する一方自衛隊横須賀航路啓戒部へ処分方法を照会中、この爆弾は長さ約一米で旧軍隊が使用していたもので終戦直後海中投棄する際海中に落したものらしい

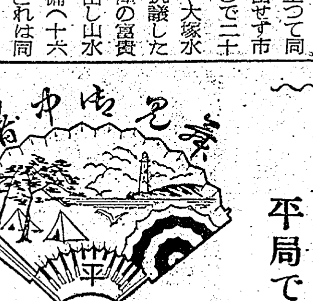
小名浜海上保安部談＝海中に沈んでいたとしても強い衝激を与えた場合は爆発する恐れがあり物騒この上もない、海水浴場も近くにあるので早く処分したい

小名浜港務所談＝前に爆弾が落ちているかどうか調査済であつたその際は全然爆弾はないことになつていたのだが心配をかけて申訳がない

夏だよりスタンプ

平局で利用をすゝむ

暑中見舞葉書を売り尽した平郵便局では、こゝ数日来の酷暑に「暑中見舞ハガキ」の注文が殺到断わるのに大変だつたが、この程「夏だよりにはコレを使つて下さい」と暑中見舞気分を出したスタンプ六種を作つてマド口に備えつけ、暑中ハガキの利用に供し喜ばれている（図はスタンプ図案の一つ）



窃盗團の片割れ

馬上を逮捕

磐城署では同市松中七七左官馬上源二(三三)を窃盗の疑で二十八日身柄を送検した、調べによると六月十一日午前二時ごろ同市松の中七二雑貨商斎藤元靖さん(五三)方に侵入し罐詰九千円相当を盗んだほか三十数件五万円相当の窃盗を働いていたもの、馬上は先に窃盗で身柄送検された清水正信(三四)ら一味のハマの窃盗團の片割れである

また四俵押收

平鉄道公安室では二十九日午前十時平着常磐線上り上野行急行二〇六列車の闇米取締りを行い無主物二十三個約四俵を押収した

自轉車盗まる

平市月見町新井喜道こと朴喜道さん(三七)は二十八日午後九時ごろ平市田町寿百貨店裏側に置いた新品自転車一台（時価一万五千円相当）を盗まれた

農村地帯は除外の手續

清掃法施行で

去る七月一日施行された清掃法によつて平市は特別清掃地域となつたが、同法の規程によると一キロ平方米地方に住民二千人以下しか居住していない地区はこの特別清掃地域から除外されることになつているので市衛生課では神谷、飯野平窪の三地区に対し目下その除外申請の手続きをとり県に提出することになつた

特別清掃地域というのは市であれば全部指定され、その市内の建物の占有者は汚物便器その他環境の衛生的な維持管理につとめる義務が与えられるもので、この地域から除外されゝばそれほどやかましくないというもの

二棟を焼く

磐城市の火事

二十九日午前一時半ごろ磐城市中の作字す賀一会川電機出張所若松貢さん(三七)方炊事場附近から出火折からの南風にあおられ同住家平屋建二十一坪一棟二戸を全焼、更に隣の菓子商赤津久平さん(四四)方二階一棟一戸（十七坪）を半焼し同二時五十分ごろ鎮火した、原因は磐城署で調査中だが取灰の不始末らしい、損害二百三十万円

凄い熱の入れ方

"七夕祭"去年より盛況か

不景氣一掃の氣構え

☆…仙台に次ぐ平市の七夕祭りは八月四日から五、六の三日間、全市を挙げて盛大に盛あげすることになつたが、駅前始め南町通りの各商店では目下、秘策を凝らした飾り付けの作成に大童、どの店でもごく秘につくつているが釜屋、常磐交通、国鉄、坂本紙店始めどの店でも昨年よりすごい熱の入れかたで、この不況を景気のよい七夕祭で一ぺんにふき飛ばそうと張切つている

☆…七夕の装飾品を売つている店からみると今年は去年より盛況になるとみているが値段は一般に昨年より一割五分も安い、一般家庭では二、三百円もかければちよつとした飾りつけが出来、本町通りとなると竹飾りだけでザツト三千円はかゝる、主にふき流しやクス玉などが多く売れ、クス玉は尺もの三百五千円、三尺もの千三百円今年はクス玉に変つて原爆型といつたものが流行している

海！海！海！
愈々夏が訪れました!!
眺望良く 漁貝は新鮮 気分万点
〃空中浮船〃を設備いたしました
天妃山
温泉旅館
山海館
茨城県磯原町 電七四
▽…大地曳 小地曳いたします
▽…團体客は特にサービスいたします
▽…お電話次第サービスカーがお迎えに参ります

コールドパーマ
洋髪
美顔術
御婚礼着付
水野化粧院
平市駅前（電六七八）

セメント瓦製造販売
利根の顔料
D.K 化粧タイル
舍石
プラスター
灰
ボード
セメント
TEL 11 1078
株式會社 野内商會
壁材料
タイル 在庫
問屋
材料と信用

第四回石城酒造品評會
優等賞連續受領
吟香に薫る
天宅
山宗酒造店
平市南町 電三二二

眼科
安田醫院
平市紺屋町 電一三三五

壽司部
出前迅速
才槌小路店
電話一〇三
蒲焼 一五〇円
やながわ 一五〇円
にた川
紅小路店
電話一四五六

南會の仙境
『只見』の思い出
（上）

樫村清

南会津の只見の地は、今でこそ電源開発の時代脚光を帯びて、天下に有名になっているが、私が「舌禍」の為に平からこの地に左遷させられた大正年間は、熊のすむ山奥で、まるでお伽の国のように観られていたものだ。

南北九里もあり面積二十五方里石川郡の全区域二十八方里近い大村だが、人口僅に三千人足らずの寒村だつた。

私がこの村（当時伊北村と云い最近只見村と改名）の小学校に赴任したのは大正十一年四月廿三日であつた。世は春たけなわに桜の花は既に散っているのに、こゝのみは未だに永い冬眠をむさぼり、周囲の山野は白雪がいがい、只道路の真中の歩道のみが僅に土の地肌を現わし、漸やく春来たらんとするのを告げるかの如くであつた。

「舌禍」問題による樫村訓導の名が時の人として広く喧伝されていたし、着任が非常に遅れたので来るのか来ないのかと噂とりどりで余計評判になつて居り、土地の人々は非常に好奇の眼を以て私を迎えたらしい。

着任三日目に永く校長をやつた新国先生の謝恩会が開かれた。その前日私は校長から、この会には村内有志二百余名が出席する。君は挨拶させられるだろう。問題の人として注目されているから思い切つて大演説をやれ。と注意されたので、土地の事情もよく聞いた上、一夜かゝつて演説草案を練つた。その席のふん囲気次第で三分でも二十分でも自由にやれる腹構えは充分に出来た。

当日は大盛会であつた。果して宴たけなわになつた時、村長から「君一つ祝辞をやつてくれ」と云われた。私は酒に酔い過ぎたからとわざと断つたが、ふらふらと酔つた村長に無理に手をとられて壇上に立たされた。人々はやんやの拍手をしながらも来たばかりの先生に無理強いしてと寧ろ同情の眼を以て私を迎えた。

然し壇上に立てば最早こつちのものだ。室内の電燈を指しながら一滴の雨水も積り積つて黒谷川（只見川支流＝当時只見川本流には発電所がない）水となり、この水の力が発電力となる、一個人の力は弱い、然しこの力を結集すれば驚くべき力を発揮する事が出来るやがて只見川の電力は日本産業の偉大な原動力となるであろう。と着任の挨拶をかねて感想を述べたので、割るが如き喝采を博した。

練りに練つた演説原稿の楽屋裏を知らぬ人々は、「突然立たされて理路整然たるあれだけの演説をやるんだ。偉いものだ。」と大評判になつた。舌禍問題を起すなんて赤化教員かと一部に危ぶまれていたらしい私は、このお陰で仕事はやりよかつたし、やれ通俗講演会だ、婦人会だと引つぱりだこになつた。こんな会への出張は分教場への打合せ名儀で、旅費、日当宿泊料の支給を受けた。

分教場が四つ、季節分教場が数カ所あつた。校長から「君小遣銭があるかい。」「ありません」と答えると「じゃ出張し給え、講演会を開いてやる」と云うあんばいで小遣いにまごつかなかつた。

山奥だけに人の心は誠に純朴、或処女会に招かれた時は、数人の会員がわざわざ布で編んだ草履を造つてくれ、真夏の事で暑いが、氷水がないからとて奥山の雪をとつて来てくれた。その純真さは未だに忘れられない。

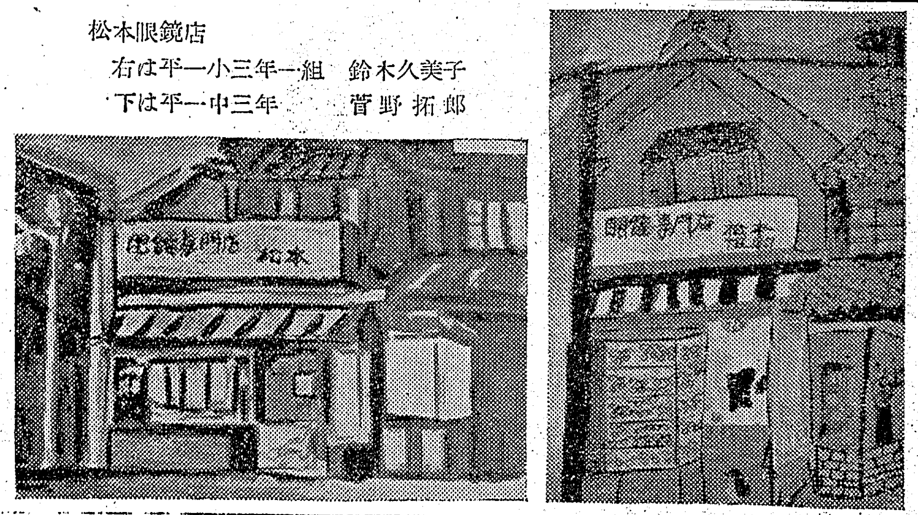
春は蕨、ぜんまいが豊富にとれる。殊にぜんまいは名産で世に会津お蔵入せんまいとて輸出され、今なら一戸十万円位の収入は楽なものだ。一日の収穫分はとても一人では運びきれないので山小屋に幾日も泊つて乾燥して持ち帰るのだ。

天然資源は多く千古不斧の大森林は云うまでもないが金銀銅の未開発鉱区十七個所もあつた。海に縁遠い土地とて昔岩塩も産し、今も塩沢の名が残つている。海抜一四六五米の鬼面山は一名水晶山とも呼ばれ、全山悉く水晶だ。私は丈余の積雪を踏んで登つた対岸の浅草岳（一五八五米）の頂上から谷間をへだてゝ数百尺の絶壁が皆キラキラと輝やく見事な水晶であるのを眺めて驚いた。夏は藪で人の通れる道もなく登れないので早春藪類を没する積雪が固つてその上を自由に歩けるようになるのを待ち、熊狩りに行つた人々が、折よく一部の雪が風の為に払われて水晶の露出しているのを見つけ、こわして尺余のものを持ち帰り床飾りにして置くが立派なものだ。

熊狩りには独特の山言葉のみを使い精進潔斉して行う事になつている。角のある「くらしゝ」は大きい犬位で肉は頗る美味、猿は多いらしいが、猟師は射たぬ習いになつている。

茸類、川魚は豊富だが、当時はバスもなく交通は不便だつたから海のものは鯨が最上の御馳走だつた。

本社主催 圖畫入選作品紙上展



松本眼鏡店
右は平一小三年一組　鈴木久美子
下は平一中三年　菅野拓郎

入遠野林組總會

入遠野村森林組合では二十八日定期総会を小学校で開き二十八年度決算、二十九年度の予算と事業計画を審議、終つて慰安会に移り木村重友一行の浪曲が公開された

休暇中行事
水産高校の

磐城市小名浜水産高校では夏期休暇中次の通り補習授業を行う、製造科三年生は静岡、東京方面の各水産工場に校外実習のため八月末まで出掛けている

▼海洋訓練　一年生全員、カツター、水泳、手旗等の訓練、七月三十一日まで▼電話級講習会　一年生全員、八月九日まで▼三級無線通信士講習会　二年生、八月末日まで

女子プロ軍招く
三日浅貝、四日平工で對戦

常磐炭鉱では東京の三共KKの女子プロ軍十五名を招いて三日午前十時から浅貝グランドに課長チームと係長チームとの親善野球大会を開催する、なお四日には午前中平商工会議所と市連商の混成チームが平工高庭で対戦、午後は平薬剤士チームが対戦する、平商工会議所と商連の混成チームは次の通り

監督＝草野四郎　助監督＝花沢行雄　主将＝坂本昌蔵　マネージャー＝上野政守　投手＝黒羽政雄、白土英雄　捕手＝本田進大平泰朗、江尻唯蔵　一塁＝矢野浩一、鈴木文雄　二塁＝百沢易重、坂本昌蔵　三塁＝阿部順吉、長谷川慶吉　遊撃＝斉藤清治　左＝佐藤忠康、箱崎勝　中＝猪狩博、猪狩四郎　右＝佐々木芳弘

明朗ラジオ聴取へ
近く電話障害對策會を結成

NHK平放送局では「明朗なラジオ聴取をしましょう」と八月初旬ころ平地区電波障害対策協議会を結成すべく準備を進めている、同協議会は平市、商工会議所、東北電力平営業所、常磐炭鉱などの協賛で、平市内の医師会、会社、電気工事業者、美容院、理髪業など電気関係の業者が主要メンバーとなり、各町内に連絡係を置き、何時聞いても楽しく聴けるよう最上のコンディションとなるよう組織するもので、他都市には見られない画期的文化機関が平市に生れることになる

勿來中學の放送完壁に
NHK協力で

勿来中学（椎名辰雄校長）では優秀な放送機があるがスタジオが無いため活用出来ずに居たが、NHK平放送局に依頼したので同局で設計このほど完成した、然し残響が少し多いので吸音幕をつけることになつた、このスタジオは平放送局の小さくしたようなもので、工事を請負つた錦町金成土建でも奉仕的にやつてくれPTAも種々協力したので立派なものとなり、音感教育に威力を発揮すると椎名校長始め満足している

正午迄授業
四倉高校で

四倉高校では学力向上のため夏休み期間を利用して去る二十七日から八月三日まで午前八時半から正午まで生徒の希望授業を実施している、生徒達はこの暑さにも負けず熱心に勉強に張切つている、現在希望授業をうけている者は約三百人である

特修科生募る

海技専門学院では特修科学生を次の要領で募集する、志願についての照会、願書、及び志願者心得などは神戸市東灘区本浜町深江同学院教務課に申込むこと

▼採用学科、人員及び修業年限▼乙種一等航海士、乙種一等機関士両科、各科約四十名宛、六カ月修業▼志願者資格、船舶職員法施行規則に定める乙種一等航海士、同一等機関士の受験履歴を有するもの▼出願期日八月一日より九月三日まで▼採用試験九月八日、数学、作文、専門学▼入学期日十月一日

五輪の塔發掘
關東北で初めて

常磐市上湯長谷常磐炭鉱「湯風荘」管理人鈴木三郎さん(六七)は昨年秋ごろ同地内の開墾畑で仕事中茶褐色の砂岩で出来ている五輪の塔一基を発掘して原形のまゝ保存していたが、近く県文化財調査委員堀江八代驍定氏によつて鑑定されることになつた

この塔は鎌倉時代末期の作品と思われるが関東北地方ではまだ一基も発見されていないが、県下石川郡泉村ではこれと似た三輪塔が発掘され国宝に指定されているところからこの鑑定の結果が期待されている

[illegible]

米不作
シメタ！名文句がでる　—野党
池田幹事長殿
（平　凡子）

治水の貧困
造つた橋は濁流に呑まれ貯水池には一滴の水もなし
（小名浜　トシ子）

今晩のラジオ 29日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五 （郡）四局通信
七・三〇 浪花演芸会
八・〇〇 歌の花ごよみ 小畑実
八・三〇 「由起子」七尾伶子ほか
九・一五 エンタツ人生模様
六・四〇 合唱 W大学グリークラブ
10・三五 おかめ八目 花森安治

◇ラジオ福島 一〇六〇KC
六・二〇 ラジオ演芸欄
七・一〇 わたしの歌
七・一五 「新東京行進曲」
七・三〇 唄うパラマックスアワー
八・〇〇 講談「旗本退屈男」
八・三〇 「命かけて」岸惠子ほか
九・〇五 平凡アワー・トニー谷ほか
九・三五 浪曲「忠臣蔵」木村忠若
10・〇五 名作「エデンの海」

今週の映画 各館とも三日まで

★平館 夜七時十分 重盛君上京す 美男天狗党
★民劇 夜六時四十分 アラゴンの城塞 廿日鼠と人間
★聚楽館 近日開館 （ローマの休日）
★ひかり座 夜六時五十分 水着の花嫁 荒神山
★世界館 夜六時三八分 里見八犬傳（完結篇）一本刀土俵入 母時鳥

地下タビ 運動靴 短靴 は 祖國

開花亭のパン

眼科
明雲堂眼科醫院 新妻幸男
平市田町ひかり館中 電話669番

靴は吉田屋

時計 眼鏡 山崎時計店 平５電９９１

カメラは田中

株式會社 錦製パン
錦町大倉・電216

新しいDPは富士

新鮮と乾海苔 兵庫屋
干物専門
平四 電一二二五

健康的で文化生活の基礎
信用をコクコク刻む誠光堂
正確な誠光堂の掛時計
平市銀座通り電話一四九六番

産婦人科 中田医院
平市材木町聚楽館前
電話一〇九七番

自轉車の日掛販賣
★精工舎の自転車が一日百円積立で買える★
▼修理歓迎▲パンク二十円
鵜沼自轉車店
平市六丁目（電一〇三三）

お中元の贈物は実用高級カバンを
手提皮カバン 値下断行 1350圓より
夏物白ハンドバック 新型入荷 300圓より
カバン袋物専門店 福山カバン店
平市二丁目 電317

肛門科 外科
上田醫院
平市南町（平局裏通）電話一二二九番

錦町
うまい醤油ホシ友

○喜多流 謡曲 仕舞
○幸流 小鼓
お稽古 毎週 月 水 金
平市田町電一二二七
白土稽古舞台